

# モニタリング結果報告書 (平成27年度)

## 1. 施設概要

施設名	札掛森の家		
所在地	愛甲郡清川村煤ヶ谷5172-1		
サイトURL	<a href="http://www.fudakake-morinoie.jp/">http://www.fudakake-morinoie.jp/</a>		
根拠条例	神奈川県立札掛森の家条例		
設置目的(設置時期)	県民が森林に対する理解を深め、県民参加による森林の育成活動を推進するための施設として設置(平成4年から設置)		
指定管理者名	企業組合丹沢ホーム		
指定期間	H23. 4. 1～H28. 3. 31	施設所管課	森林再生課 (自然環境保全センター)

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>項目評価(利用状況、利用者の満足度、収支状況)がS、A、Bとなったため、3項目評価はAとした。事業実施については年間を通して円滑に運営することが出来た。平成27年度をもって指定管理が終了することになったが、間伐材を利用した木工作や森林散策など積極的に実施し、施設周辺の環境整備に貢献した。野生動物をはじめとした、周辺の自然観察、野鳥観察などは、参加者から好評を得ており、また、NPO法人丹沢自然保護協会との協働により、人工林整備活動、広葉樹植栽、子供を対象にした森の学校などを実施するなど、県民が森林に対する理解を深め、県民参加による森林の育成活動を推進するという目的の推進に役立った。</p>
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況：当該施設の設置目的や役割を十分に熟知し、提案通り維持管理業務の運営を行っている。リピーターが増えたことで自主事業も定着してきており、施設周辺の環境整備に貢献している。また、利用者の参加しやすさを向上させるため、日帰りの体験活動を積極的に展開し、新たな利用者層の獲得に努めている。</p> <p>◆利用状況：活動場所が遠いことや、施設立地が公共交通機関から遠隔地であることから、森林体験活動の参加者による宿泊利用も減少している。ブログの継続的な更新や、新聞等による広報で客数を増やす努力を行っているが、全体的に客数は減少傾向にあり、対前年度比で86.4%であったため、B評価とした。</p> <p>◆利用者の満足度：上位2段階の評価が90%以上であったため、S評価とした。</p> <p>◆収支状況：利用料収入が計画を下回ったため、収入額全体も計画を下回った。一方で、可能な限り職員が維持管理業務を行うなど、経費節減に努めた結果、支出額も計画額を下回ったため、計画以上の収支を得ることができた。収支比率が104%であったため、A評価とした。</p> <p>◆苦情・要望等：苦情・要望等もなく、適切に接客対応に努めていると認められる。</p> <p>◆事故・不祥事等：事故・不祥事等もなく、適切に管理運営が行われていると認められる。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況：県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない</p>

3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
A	※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう

## 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	11/13、12/16、3/10	なし
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有	指導・改善勧告等の内容
	無	なし

#### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設整備の維持管理については、原則、直営による。 高度な技術や知識が必要な分野については、専門分野の業者に委託する。	定期清掃や施設設備点検等は、例年通り委託業者により実施した。日常点検及び清掃、草刈等については、コスト削減のため、職員及びボランティアにより実施した。	
丹沢山地の森林保全活動を促進するため、丹沢で実践活動を行う森林整備ボランティア団体やグループの利便性を考え、活動支援を行う。	県民の森等での森林整備作業（10回、244人）、研修（14回、241人）、広葉樹などの植栽（2回、148人）、森林内清掃活動（15回、30人）を実施した。	
施設を広く県民にアピールするため、ホームページやパンフレット、その他媒体を活用し、施設の紹介及び年間の事業計画、イベント案内、自然情報の提供など、積極的な情報発信を行う。	パンフレット及び周辺観察マップを積極的に配布し、施設の広報活動に努めた。また、利用者に対して親切・公平な助言等を実施するとともに、参加型のイベントへ誘導し、森林育成活動の推進を行った。	

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の提案内容	実施状況等
施設の設置目的を県民に広く理解していただくために、森林整備の様々な事業を企画立案し、参加者を公募して、市民参加による森林整備活動を推進する。	森林育成活動体験（4回、21人）、間伐材を利用した木工等（5回、54人）、自然観察会（2回、14人）、生徒学生向けセミナー（1回、46人）を実施した。
発達障害及び不登校児童・生徒を対象に、森林整備活動を体験してもらい、心身を醸成し、社会へ参加するきっかけづくりを行う。	森林育成活動は環境教育としても大切な要素であることから、不登校児童に加え、発達障がい者の施設の受け入れを行った。（2日、29人）

#### 5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
B	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	2,476	3,186	2,752
対前年度比		128.7%	86.4%
目標値	1,901	2,476	3,186
目標達成率	130.2%	128.7%	86.4%

目標値の設定根拠： 前年度実績による

利用者数の算出方法（対象）： 利用申込書による

[ 参考：最大利用可能人数／年 ]

	宿泊室	ホール				合計
定員	30	70				
年間利用可能日数	265	335				
最大人数※	7,950	23,450	0	0	0	31,400
稼働率	3.20%	11.73%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易アンケート：随時 詳細アンケート：年1回以上	簡易アンケートを随時、協定に定めた詳細アンケートを3月に実施した。 上位二段階の評価は前年と同様に高水準を維持しており、引き続き適正な運営が行われているものと見られる。

### [ 施設としての総合的評価 ]

質問内容 施設管理に対する満足度について・総合

実施した調査の配布方法 利用者に配布 回収数/配布数 79 / 254 = 31.1%

配布(サンプル)対象 宿泊利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
施設としての総合的 評価の回答数	40	37	1	1	79	(満足) トイレ、浴室、 客室がきれいだった。お 風呂が快適だった。等 (不満) 男子と女子の風 呂がわかりづらい。注意 事項はしっかり言ってほ しい。等
回答率	50.6%	46.8%	1.3%	1.3%		
前年度の 回答数	127	139	1	1	268	
前年度回答率	47.4%	51.9%	0.4%	0.4%		
回答率の 対前年度比	106.8%	90.3%	339.2%	339.2%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

### [ 参考：職員の対応状況 ]

質問内容 施設管理に対する満足度について・接客対応

実施した調査の配布方法 利用者に配布 回収数/配布数 93 / 254 = 36.6%

配布(サンプル)対象 宿泊利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
職員の対応状況の 回答数	42	50	1	0	93	
回答率	45.2%	53.8%	1.1%	0.0%		
前年度の 回答数	127	139	1	1	268	
前年度回答率	47.4%	51.9%	0.4%	0.4%		
回答率の 対前年度比	95.3%	103.7%	288.2%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

### [ 参考：その他 ]

--

## 7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	14,078	330	0		14,408	14,408	0	100.00%
	決算	14,078	187	0		14,265	14,265	0	100.00%
前年度	当初予算	14,481	339	0		14,820	14,820	0	100.00%
	決算	14,481	290	0		14,771	14,366	405	102.82%
27年度	当初予算	14,481	339	0		14,820	14,820	0	100.00%
	決算	14,481	192	0		14,673	14,054	619	104.40%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

特記事項なし

[ 参考：県が支出した修繕工事費 ]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
平成28年3月	1,750	入口木柵改修工事(1,750千円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等：50千円以上)

[ 参考：資本的な収入及び支出等の状況 ]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		該当なし
積立		

## 8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件	該当なし	
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
		該当なし	

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無し	
職員の配置体制	無し	
労働時間	無し	
職場環境	無し	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。